



西部地区 社会福祉協 会だより

第8号
西部地区社会福祉協議会

運営委員長 生駒 敏文
TEL 0299-45-2493
令和5年11月発行

ごあいさつ

運営委員長 生駒 敏文

晩秋の候 西部地区の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から本協議会の事業にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

全国的に新型コロナウイルスが収まらない中、7月23日（日）仲通り公民館において、本年度総会の議事及び開催について岩間西部地区社会福祉協議会運営委員会で協議をしました。

令和4年度事業及び決算に続いて監査報告があり、次に令和5年度事業計画及び予算案の説明がありました。

そして本年度も総会開催については書面での総会とする事となり書面での結果、質問等が有りま

せんでしたので可決されました事をご報告申し上げます。

昨年度は感染状況が収まらないため、市民活動助成金や岩間地区市民の会のコミュニティづくり事業を活用して、上郷の伝え話をCDにして全戸配布しましたところ好評をいただきましたので、それをDVD化したアニメーションも作成しました。

地区での集会等でご希望があれば上映会も出来ますので、是非お申し出ください。

本年度事業につきましては昨年に引き続き高齢者支援、子ども会支援、三世代交流事業この三本柱を中心に進めてまいります。

事業の日程につきましてはコロナウイルスの感染状況を考慮しながら回覧等でお知らせいたします。



地域の皆様に寄せていただきました
「上郷のつたえばなし」の感想をご紹介します。

大網区の皆さんに「上郷のつたえばなし」のCDを聞いた感想を下記に書きました。

大網地区 山田 博史

- 上郷地区に、こんな話があったことを初めて知りました。
- このCDを作成するために関わった方々の努力に、感謝します。ありがとうございます。

- 話を語ってくださる女の方の声が素晴らしいと感じました。
- つまらないことですが、岩間地区の茨城弁と少し違う気がしました。（「だっぺ。」がないのが気になりました。）
- 「岩間きんご」の話が面白かったです。
- 我が家にはCDの機械があったので聞けましたが、CDの機械がない家があると思ひので、きっと、ずっと聞かない人がいるのではないかと思います。まだ聞いていないという方がいたのが残念です。
- 「難台山の赤すすき」の話が、子供のころ岩間町のハイキングで登った、ススキヶ原のすすきの根本に近いところに、赤い点々が在るのが思いだされ、何か不思議な気持ちになりました。
- 「小豆ばばあ」の話は、子供たちへ暗くなる前に帰いなさいという親の愛情が感じられました。
- このCDを聞いているうちに、子供のころ「イソップ物語」を読んだ時と同じ感慨深い感情を抱きました。



「上郷のつたえばなし」を聴いて

大古沢区 永井 淳

「上郷のつたえばなし」のCDを早速聴いてみました。CDには14のつたえばなしが収録されていますが、どれも初めて聴く話で興味深いものでした。

語り手の中澤敦子さんは水戸出身の女優、シャンソン歌手であり、方言指導者としても活躍されているそうです。彼女は茨城県を舞台としたNHKの連ドラ「ひよっこ」の方言指導もされたそうです。彼女の発声や聴きとりやすい口調がつたえばなしに合っていて情景が浮かぶようでした。話し方がちょっと方言を誇張しすぎているように感じましたが、どこことなく懐かしく、つたえばなしの魅力を際立たせていると思いました。

つたえばなしの中に「難台山の赤すすき」、「首洗いの滝」という小田五郎にまつわる話がありました。小田五郎の名前は難台山に碑があることで小学生の頃から知っていましたが、詳しいことは知りませんでした。

つたえばなしを聴いて、この長閑な上郷でも昔は壮絶な戦があつてそのゆかりの場所が残されていることを知り驚きました。

「上郷のつたえばなし」は上郷の歴史や文化を教えてくれる貴重な資料だと思います。

私は、これらのつたえばなしを大切に、次世代に伝えていきたいと思います。

駒場区 齊藤 悦男

昔、ラジオもテレビもない時代に親から子へと語り継がれていたお話だと思います。

中には知っていた話もありましたが、どの話も興味深く聞かせてもらいました。

とてもあたたかい茨城弁で楽しく聞き入って、特に近所の知っている地名が出てくると何度も聞きました。

こんな上郷の昔のロマンあふれるお話をいつまでも伝えていけたらいいなと思いました。

※紙芝居もおもしろそうだなと感じたのは（孫）私だけかな？



「上郷のつたえばなし」を読んで

日向区 島村 弘一

私は以前、県外で暮らしておりましたが第二子誕生を機に、父が生まれ育った上郷（日向地区）へ引っ越して参りました。上郷は自然豊かで、地域の方々も心温かく、子供たちを育てるには最高の環境だと思っております。

今回、「上郷のつたえばなし」を戴き上郷のことをより深く知る良い機会だと思い、付属のCDをみんなで聞くことにいたしました。

方言交じりのゆっくりとした語り口で生前の祖母が思い出され、初めて聞くはなしではありましたがどこか懐かしさを感じました。戦にまつわるはなしもあった為か、子供たちの感想は「面白い」というよりも「こわい」というものでしたが、近所の神社や山など知っている言葉を耳にし、大変興味深く聞いておりました。

特に印象に残ったはなしは「宮池と源光坊」です。南北朝の戦により、平穏に暮らしていた村人たちの生活が奪われ、更には美しい水をたたえ、神さまが宿と言われる羽梨山神社の宮池までもが血に染まっていった。すると大入道と化した源光坊が現れ、戦を沈め再び村人たちの平穏な暮らしが取り戻されたという内容でした。

私はもとより、子供たちにも平穏な暮らしや平和な世の中が当たり前になっている昨今、何不自由なく生活しておりますが、今なお至るところで悲しい争いが繰り返され、多くの方々が嘆き苦しんでおります。

このはなしを読んで、源光坊のような「救世主」が現れ、一日でも早くみんなが幸せで平和に暮らせる世の中が訪れて欲しいと切に思いました。

これからは子供たちだけではなく、友人や知人など身近な人にも「上郷のつたえばなし」を紹介し、歴史ある上郷を知ってもらいたいと思います。

岩間・上郷のつたえばなし

日向内区 森 茂

縁あって、ここ上郷に移り住んで二十年。

朝夕の散歩に近所を歩き回る年になりました。

愛宕山・難台山・館岸山に囲まれた上郷地区。田植えの時期には、輝く田んぼの水面に映り込むその山並みがとても美しい。

田んぼの畦の中心で、ぐるりひと回り身体を回転させると、山々がパノラマに見えてくる。

とんびと一緒に、浮き上がりたくもなる。

とても穏やかな時間と空間の中に何処か一瞬張りつめた神聖な空気を感じる時もある。

先日、ここ上郷のつたえばなしをCDにして伝え残そうという、プロジェクトのお手伝いをする機会を得ました。低予算でも知恵と力を出し合い、ボランティアで皆と協力し合えばなんとか形になるでしょうと。

お手伝いしてその仕上がりの品物を見て、ほのぼのとした出来映えに思わず安堵と達成感に浸りました。

そして確信しました。

みんなで協力すれば、どうにか成る。

十四話からなる上郷のつたえばなし。

CDを聴きながらテキスト編集作業をしていると、時空を飛び越えて昔に行ったり来たりと、しみじみ聞き入ってしまいました。

中澤敦子さんの穏やかな声と語りから立ち上る、ここ上郷地区のつたえばなし（民話）。

自然の奥深さや厳しさ、歴史に刻まれた人達の喜びや悲しみなどの景色がとても立体的に陰影を付けて見えてくる様に感じました。

素敵な朗読に感動です。

追記：

十二話「かみなり棒」を聴いていて我が家にかみなりが落ちた日の事を思い出しました。

ここに越して来る迄は「かみなり棒」の話も時々凄い雷雨が来る事も知りませんでした。

テレビやラジオの電波状況が良くないからと私設電柱に大きなアンテナをつけていたのを狙われたらしいのです。

もし「かみなり棒」の話を知っていたならと先人のつたえばなしの大切さを実感しました。

「上郷のつたえばなし」

仲通区 小山 義夫

歴史好きの私としては「上郷のつたえばなし」はとても興味を惹かれるもので、上郷地区の歴史を知る貴重な資料となりました。

冊子とCDが手元に届いた時には、年甲斐もなく興奮し、早速冊子の目次に目を通し、「上郷のつたえばなし」が上郷地区の史実から自然、神社仏閣そして植物に至るまで多種多様な内容に溢れ「十四項目」にもものぼる伝え話があることに驚きながら気持ちの高ぶりを抑えきれず直ぐにCDを拝聴致しました。

拝聴した中で思わず「えっ？」と声が出た程、印象に残っている伝え話がありました。

それは、最初に登場する上郷地区の守り神として鎮座する羽梨山神社の御祭神「木花咲耶姫」と小豆（大角豆）の話です。それは、私も幼いころから祖父や実父から「大角豆を口にすすな。栽培などもつてのほかだ」と当たり前のように聞かされていたためそれがまさか伝え話であったこと、その伝え話の中で、御祭神である木花咲耶姫が大角豆で片目を無くしたことが由来であったことを知り、先代からの言い伝えを守る祖父と実父の私を思う親心に私は心が熱くなりました。

昨今は、インターネットの普及により、どこでも気軽に地域の風習や習わし、また根拠が定かでない伝説などを簡単に知ることができそうですが、それらを知ることにより、その土地で暮らす人々が家族を思い、家内安全、無病息災といった人々の幸せを願うことに繋がっているのだと思います。私の住む上郷地域は自宅の庭や畑を掘ると当たり前のように縄文土器等の歴史的遺物が出土するなど歴史も多く、山あり川ありと自然にも恵まれた災害の少ない地域です。この上郷という地域を次世代に繋げていくことが、今の私にできる先代への恩返しになるのではないかと考えています。

最後に「上郷のつたえばなし」を読み拝聴したことにより、改めて上郷という地域の素晴らしい歴史の多さに感動し、その時代の人々の思いに感銘を受けると共に、心躍る経験をさせてもらったことに感謝し、この伝え話の作成に携わった方々に深くお礼申し上げます。

上郷のつたえばなしをいただいて

長沢区 安達 あき子

今回「つたえばなし」のCDをいただき、とてもうれしく、貴重なお話を家族皆で聞きました。

文章で読むお話も良いですが、実際の耳から入ってくる「つたえばなし」は、今まで幾度か耳にしていた話でしたが、改めて内容を知る良い機会でした。

いつもお参りをし、手を合わせていただいている、羽梨山神社の神様コノハナサクヤヒメ様のお話は、母が近くの田を作らなくなった時、何も知らなかった私が、「豆でも作れば」と話した時に、「絶対に作れない」と言われた事を思い出し、今になって納得し、母を懐かしく思い出し、その様な事があった事に家族もびっくりしていました。

たくさんの方のつたえばなしを聞き、私たちの住んでいる地区は、神様や地域の方々を守られ続けてきた地域だったことに感謝いたしました。

一つ一つのつたえばなしの内容に思いを募らせ理解をしていくことを楽しみに生活していこうと思います。

母にも聞かせてあげたかったというのが、私たち家族の感想でした。

このようなCDを作っていただき感謝いたします。

「上郷のつたえばなし」を聴いて

大久保区 菊池 旭海

この度は、岩間西部地区社会福祉協議会の皆様方の御尽力によりまして「岩間の伝え話」より更に上郷地区にポイントをしばって「上郷のつたえばなし」をDVDとCDにて出版されましたことおめでとうございます。

「上郷のつたえばなし」のDVDとCDを拝見、拝聴し、アニメーションの可愛らしさに心がほのぼのして、物語の世界に入り易く、また物語にいのちを吹き込む茨城弁の情緒豊かなこと、物語を聴き終った後には心がほんのりと温い気持ちに満たされました。

上郷のつたえばなしは羽梨山神社御祭神、木花咲耶姫・愛宕山杉山僧正十三天狗紀州那智熊野伝来の滝前不動明王・大杉の守り神稲荷大明神等の神仏の由来にはじまり、雷様やあずきばあなどの物怪達や義賊岩間きんごに埋蔵金伝説と多岐にわたっています。また、赤すすきや首洗いの滝等、難提・館岸であった南北朝の戦に因んだ悲しき物語も岩間上郷の歴史を伝えるうえで忘れてはならないと思います。

どのつたえばなしも興味深く特に宮池と源光坊の話の中でいわれていた「この土地は昔鳳凰が舞い降りた聖地」という言葉から思うに上郷という地域が神仏が住みたもう聖地、また筑波山修験・加波山修験の影響を受けて天狗信仰、神仙信仰と上郷各所に色濃く残っている。

とりわけて愛宕神社の杉山僧正と十三天狗の伝説は、かの江戸時代の国学者平田篤胤も「仙郷異聞」として杉山僧正の事柄を神隠しにあった寅吉より聞き書物にしている。

かの水木しげる先生は、「妖怪は信じる者にしか見えないのだ。」と言っておられたが、なんでも手に入り、昼夜関係なしの便利になりすぎた現代人にとってはつたえばなしは荒唐無稽な話なのかもしれない。

しかし、色眼鏡を外して子供の頃の素直な気持ちで「上郷のつたえばなし」を聞く時、物語の主人公達の声なき声に耳を傾け、姿なき姿に思いを馳せる

時、この里山の空間につたえばなしの世界を見ることができないのではないかと思います。そして現代の私達が忘れがちな心温まる先人達が残してくれた思いに改めて気づき、今を生きる知恵にかえてゆくことが大切なことと思います。

末尾になりますが、「上郷つたえばなし」の制作にあたり、関係各位の創意工夫の実践に感謝すると共に、「上郷のつたえばなし」に出会う全ての人達が心穏やかになることをお祈り申し上げます。

合掌

「上郷のつたえばなし」にふれて

東組区 小山 美知子

地元こんなにも沢山の昔話があったとは。

悲しい姫の話、戦の話、ちょっと怖い首洗いの滝、村人達を守った源光坊、ユーモアがあるかみなり棒、たぬきに化かされた話等々、中澤敦子さんの茨城弁の語りに情景が目につかび、いつの間にか引き込まれてしまいました。

上郷に住んで四十数年。

未だに訪れていない場所に行ってみようかと改めて思いました。

次世代に継ぐとても素晴らしいCDが出来たと思います。

制作下さった皆様に感謝いたします。

そして感動を与えて下さりありがとうございました。

笠間チャンネル 上郷のつたえばなし

検索 🔍

中澤敦子さんのやさしい語りとかわい
アニメーションがご覧になれます。
是非検索してみてください。

上郷のつたえばなし

語りとアニメーションDVD 6話

あずきと木花咲耶姫

純狐

難台山の赤すすき

宮池と源光坊

かみなり棒

小豆ばあ

令和4年度(2022~2023)制作 令和4年度笠間市まちづくり市民活動助成事業 協力:西部地区長会
語り:中澤敦子 アニメーション:大塚拓 再録構成:高橋ゆ子 録音:センバヤマスタジオ 編集:大塚拓
音楽:文蔵、聞き取り:岩間町(現:笠間市)教育委員会編「いわまの伝え話」、上郷在住 生駒敦文氏より
※このDVDと別に、14話収録の「上郷のつたえばなし(語りCD/令和4年度制作)」もあります。